

令和2年度 地域貢献活動支援報告書

地域イノベーション推進機構長 殿

所 属 伊賀サテライト伊賀研究拠点
氏 名 紀平 征希

活動テーマ	伊賀市の小学生の食生活の現状把握と改善プログラムの開発
実施期間	令和2年4月1日 ～ 令和3年3月31日
活動内容	<p>(1) 具体的な活動実施内容</p> <p>現在、大学、行政や民間を挙げての食育活動が普及、推進されているなか、伊賀市の小学生の食生活の詳細な実態は把握されていない。伊賀市の小学生に対し、効果的な食育プログラムを開発することを目的に、令和元年度にアンケート調査を行い、食生活の偏りなど、改善点についての詳細を分析した。これにより明らかになった食生活の実態を参考に啓発用資料を作成し、配布した。</p> <p>(2) 地域への貢献（地域の発展・活性化への寄与、広がり）</p> <p>本活動により得られた結果は、伊賀市教育委員会と共有しており、このデータに基づいた効果的な現場での食育の推進が期待される。</p> <p>コロナウィルス感染症の影響により、学校現場での具体的な食育実践には至らなかったが、リーフレットの配布は今後の伊賀市における食育推進にとって意義のあるものとなった。</p> <p>(3) 共同実施者との連携状況</p> <p>共同研究先である伊賀市教育委員会および上野商工会議所の会員である上野ガス（株）とは、数回のメール会議を持ち、リーフレット作成において、密に連携をとりながら実施することができた。特に、教育委員会からは、伊賀市の子ども現状に応じた啓発資料にするため、大学側では想定できないような助言を多々いただいた。</p> <p>(4) 大学の教育・研究成果のかかわり</p> <p>実施学内活動実施者である紀平は伊賀サテライト伊賀研究拠点の研究員であることから、伊賀市における地域貢献活動の一環として、本事業をきっかけとして食育を推進していくことができる。また、磯部は教育学部教授であり、家政教育の食生活分野の教育・研究を担っていることから、今後の大学教育や県内の食育活動の助言に活かすことができる。</p> <p>(5) イベント等開催実績（名称、実施場所、参加人数等）</p> <p>食育啓発資料の配布 伊賀市内小学校 20校、4186部</p> <p>(6) これまでの取組みによって得られた具体的な成果について</p> <p>この活動を通して得られた最も大きな成果は、大学と学校現場、企業が連携して食育を推進していく枠組みを作ることができたことである。今後、具体的な食育活動に結びつけていくことが課題である。</p>